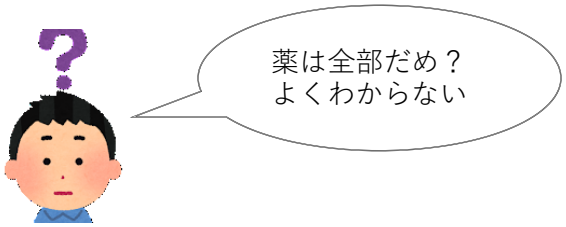
2023 年 10 月 7 日

薬に関する相談窓口について

スポーツを実施する者、指導する者、支援する者、すべてにおいて、「フェアネス」を実践・保持することが重要である。この「フェアネス」を実践・保持するためには、「アンチ・ドーピング」を日々心掛けて生活することが必要です。

「アンチ・ドーピング」（出典：公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構）

アンチ・ドーピングとは、ドーピング行為に反対（anti アンチ）し、スポーツがスポーツとして成り立つための、教育・啓発や検査といった様々な活動のことです。



【相談窓口】を活用する！

① かかりつけ医・かかりつけ薬局に相談する。

② スポーツファーマシストに相談する。

町野　紳さん（まちの薬局・福島県スポーツファーマシスト協会会長）

藤島謙蔵さん（あいあい薬局・スポーツファーマシスト）

福島県薬剤師協会所属スポーツファーマシスト（https://www.sports-fukushima.or.jp/6959/）

◆LINE や電話で相談◆

株式会社メディカルピースの無料サービスを利用する。

→「福島のシュプール」に広告掲載

（https://mp-coltd.com/news/141/）

サービス詳細&料金

1. 〈無料〉アンチドーピングに関する個別相談（大会・遠征に伴う持参薬剤等）※
2. 〈無料〉持参薬剤・サプリ等との飲み合わせ個別相談 ※
3. 〈無料〉TUE申請サポート※
4. 〈講演料+交通費〉アンチドーピングに関する講演会

※会津地方在住アスリートやその保護者・指導者限定

福島県スキー連盟関係者であれば、会津地域以外でも相談できるように交渉済

”うっかりドーピング” にもなり得る

　気付かなかった、うっかり飲んだ・食べた等が起こり得る可能性がある。選手は勿論のこと、保護者、指導者、関係者は、正しい知識を身につけ、適切な対応を行っていきましょう。

【参考】

公益財団日本アンチ・ドーピング機構（https://www.playtruejapan.org/）
World anti-doping agency（https://www.wada-ama.org/en）
福島県薬剤師協会所属スポーツファーマシスト（https://www.sports-fukushima.or.jp/6959/）
※10/7 現在、ブラッシュアップ中。随時更新するとのこと。

＜本件についてのお問い合わせ＞

福島県スキー連盟
総務本部長　　沖　和砂

SAF 事務局
✉：saf-o@poem.ocn.ne.jp
☎：0242-62-4504
※非通知・匿名での問い合わせは、
　お受けできかねます。